

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月10日

団体名 NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた

代表者 理事長 築瀬鈴憲

構成員 55人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

市民及び市民団体、企業が行う社会貢献活動を促進し、市民・企業・行政が相互に参加や協力するまち育てを支援することで、岡崎市の協働型社会づくりを促進することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
通年	各地域交流 センター、り ぶら	市民活動団体 市民	市民活動団体: 461 団体 市民: 不特定多 数	[市民活動センター・地域活動センター の運営] 相談窓口の運営、おかざき市民活動情報 ひろば・ボランティアマッチング(まちびとバ ンク)の管理運用に加え、イベント・講座の 開催をした。
通年	岡崎市内各 所	市民	不特定多数	[地域包括支援センターの後方支援] 市内20か所の地域包括支援センターの職 員研修及び広報支援等を実施
通年	岡崎市内各 所	プログラム受講者	高校生: 7 名 小学生: 30 名	[カーボンニュートラル人材育成] 脱炭素につながる体験等を通じて、小学 生～大学生までの世代において、自ら考 える力を身に着け、他者の意識改革を促 せるような人材を育成することを目的とし たプログラムを作成した。
通年	下山地区	下山地区住民	不特定多数	[下山学区地域づくり協議会の運営支援] 農村型 RMO 形成に向け、地域主体の協 議会及び4つの部会活動の運営を支援し た。
通年	岡崎市内の 都市公園 やはぎかん	市民 ワークショップ参 加者	市民: 不特定多数 ワークショップ 参加者: 21 名	[公園愛護運営会設立等支援] 既存の公園愛護運営会の情報交換会や 矢作公園の管理・活用に向けたワークショ ップを開催した。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。〈ex.自然環境〉

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

市民活動団体への活動支援、環境問題への意識を高める教育的取組、地域住民との連携強化など、多岐にわたる分野で岡崎市の持続可能な発展に貢献した。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

幅広い分野・テーマで、地域住民・市民活動団体・事業者・行政が連携・協働し、主体的なまちづくりに取り組む場づくりを創出できた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。